



「みずべ」の歴史 (その5 リバークルーズ)

平成 17 年 (2005 年) に荒川ロックゲートが完成し、隅田川と荒川がつながり、船で航行することができるようになりました。隅田川から小名木川を東へ向かうと扇橋閘門があります。工場の地下水汲み上げによる地盤沈下した地域に対処するため、扇橋閘門から東側の水域は水位が一定に保たれています。街と水辺が切り離されていたこの地域は平成 18 年度 (2006 年度) から東京都の護岸改修工事により、護岸を低くして、テラスを設けるなどして、人々が水辺に近づきやすくなりました。



エンタメクルーズでの船上からの眺め

内部河川のクルーズ環境も少しずつ整備されてきたこともあり、平成 18 年 (2006 年) から江東区東大島文化センターの協力を得て、水辺の会では「リバーガイド養成講座」を開設しました。これは水辺の魅力を理解するガイドをつくるが必要と考えたからです。第一回目には 25 名の募集に約 100 名の応募があり、急遽定員を 35 名に増やして実施しました。中川船番所資料館の学芸員による歴史説明を学習するほか、昔と今の自然環境や水質調査実験などの環境学習、船の航行ルール学習などを行ない、最後は実際に船上で声を出してガイドをし、お互いの評価、改善点などを話し合いました。修了者は水辺の会のリバーガイドとして活動していただいています。リバーツアーについても、ほぼ同じ時期から定期的を実施するようになり、江東内部河川を航行するクルーズ船が活動しています。

江東区の水辺に親しむ会では、プレゲンツ音楽祭のような水上の舞台での能の上演、2016 年には「日本橋と深川水都復活まつり」におけるクルーズや「エンタメクルーズ」、2019 年には内部河川を巡る「繋ぐクルーズ」などさまざまな実験的なクルーズを試みてきました。これからも内部河川のクルーズを盛んにするための試みを続けて行くつもりです。

本会理事 庄司邦昭

2024年の活動予定

- 3月16日(土)、17日(日)防災イベント(旧中川川の駅周辺)
- 3月16日(土)~4月7日(日)第20回お江戸深川さくらまつり(門前仲町大横川付近)
- 5月11日(土)夜の水彩カフェテラス(旧中川川の駅周辺)
- 5月19日(日)、6月16日(日)、7月21日(日)水彩サロン春学期(森下文化センター)
- 7月15日(月、祝)明治丸シンポジウム



みずべ Mizube Vol.41



シーカヤック

江東区民が身近な水辺空間に親しめるために！ 東京海洋大学・学術研究院 田村祐司 (本会会員)

江東区水辺に親しむ会が、東京のベネチアとも言われている、水辺環境に恵まれた江東区の水辺をフィールドにして、区民の皆さんが水辺に親しみ楽しめる企画を日頃から精力的に行ってくださっていることに対して、まず感謝を申し上げます。

江戸時代に行徳の塩を江戸に運ぶために開削された小名木川、そして両岸にたくさんの草木や花々が咲き、多自然型の広い河川敷を有する蛇行する旧中川の両側には、江東区や江戸川区により整備された素晴らしい遊歩道やサイクリングロードがつけられ、旧中川と小名木川が合流する水辺空間に「川の駅」が設置されました。また、その袂の中川船番所資料館等とともにこの空間は、江東区民や子どもたちが水辺に近く親水エリアとしてハード面が非常に整備されてきました。

これからは、この素晴らしい川辺の親水空間を、陸側から眺めながらウォーキングやジョギングをする方々が益々増えてくると思います。そして、今後はそれに留まらず、川の駅を中心に、旧中川や小名木川、川の駅前の広い水域で、江東区民や子どもたちが、リバーカヤック、シーカヤック、レガッタ用ボート、ゴムボート、ヨットなどの小型船に気楽に乗れる利用システムを、本会が江東区や指導スタッフと連携してつくっていくためのソフト開発も大切なことではないかと考えます。

その一環として、2023年度より本会が関わる「江東・旧中川水彩パーク」が、旧中川の水辺空間で、リバーフェスタ・ナイト水彩カフェテラス・ポートフェス等の具体的な企画を開催され始めたことは、大変素晴らしいことと考えております。このように、多くの江東区民や子どもたちが水辺自然体験を楽しみながら、水上から陸側を眺める視点で水辺環境に関心を寄せていくことはとても大切なことです。このことは、世界各国で動き始めている、持続可能な開発と環境保護というSDGsの教育実践活動にも繋がっていくと思います。

さて、東京海洋大学では、20年前から千葉県山本市の本学臨海実習センター周辺の海で行っていたシーカヤック実習を、数年前より越中島キャンパスポンド周辺水域で実施し始めています。また、今年度からは、5月・9月・3月の3回、江東区民の皆様を対象とした江東区主催のシーカヤック教室を、本学も支援させていただきながら実施し始めています。今後は、越中島キャンパスポンド前の豊洲運河の一部をフィールドに実施している海洋大ヨット実習やレガッタ用ボートによる実習を、シーカヤック同様に江東区民の皆さんにも楽しんでいただくような企画に関しても、本会や江東区とも連携して検討していきたいと考えています。

そして、江東区の水辺で多くの区民が小型船を漕いだり、その他さまざまな水辺体験活動を楽しみながら実施し、自分自身が住む江東区の水辺について関心を寄せていただければと考えています。

